13018

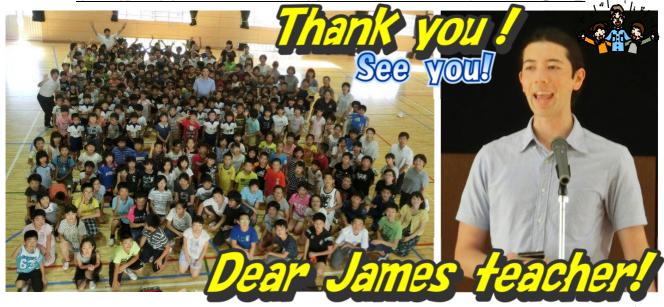


平成30年 7月17日 平戸市立田平北小学校 学校便りNo.(33) 校長 曽川 和則

たゆみなく流れて清き「わが田平北小」◇◇◇

学校教育目標:「進んで学び、心豊かで、心身ともにたくましい児童の育成をめざす」

☆★☆彡 第33話:「ありがとう!ジェイムズ先生!~SEE YOU また会う日まで~」の巻



ますます国際化する社会と時代の要請を受け、新学習指導要領では、小学校における外国語活動が重要視されています。3・4年生では「外国語活動(英語活動)」、5・6年生では「外国語科(英語科)」として、教育課程の中に位置づけられることとなりました。外国語(英語)の習得においては後進国とされる我が国において、「世界で活躍できる日本人の育成」を視野に入れた大改革が始まっているのです。本格的な実施は、2020年度からですが、もうすでに今年度から移行期に入り、中学年で年間15時間、高学年で年間35時間の外国語(英語)授業を行っているところです。

その授業のサポート役となって、子どもたちに英語の楽しさを教えているのは、ALTのジェイムズ 先生です。オーストラリア出身、現在26歳のジェイムズ先生は180mを超える長身で、まさにイケ メン。(私も、うらやましい限りです!)授業だけではなく、給食時間や昼休みの遊びなど、子どもたち と大いにかかわり、子どもたちをいつも大事にしてくれたナイスガイの先生です。

そんなジェイムズ先生ですが、寂しいことに7月20日(金)の終業式をもって、この田平北小学校を離れます。2学期から、市内に新しいALTの先生方が加わり、全体的な配置換えが行われ、ジェイムズ先生とお別れしなければならなくなったのです。(子どもたちは悲しみに暮れています・・・!)

7月13日(金)に開かれた「ジェイムズ先生とのお別れ式」では、ジェイムズ先生が英語と日本語で、子どもたちに「感謝と惜別のメッセージ」を語ってくれました。その中で、「平戸には住んでいるので、どこかで出会ったときは、AISATU BEAM(あいさつビーム)をしてください。」というお願いがありました。また、出会えることを楽しみにして6年生の子どもたちが、英語と日本語で「感謝と再会のメッセージ」を送りました。会話の中に自然と英語があふれ、北小の国際化が見られました。

「ロック、シザース、ペーパー、ワン、ツー、スリー」で始まるイングリッシュジャンケンが大ブームの北小です。やがて世界に羽ばたいていく228名の未来の礎を築いてくれたジェームズ先生、感謝!





